

つながる心

パラリンピック誕生の
きっかけ

なぜ障がいを持った人は
オリンピックへ参加できな
いの？ そう思ったイギリ
スのグットマン医師は、
1948年、ロンドンオリ
ンピックにあわせて車いす
患者16人によるスポーツ大
会を開催しました。これが
パラリンピックのはじまり
です。

失ったものは数えるな
残ったものを生かせ

グットマン医師は患者たちに、
スポーツで身体と
心の自信を取り
戻して欲しいと
願いました。

ルートヴィヒ・グットマンさん



通訳班
(学生ボランティア)
お箸の使い方を
教わる選手たち。



空港お出迎え班 (自衛隊)
自分の足で東京の土を
踏みたいという選手の
希望に応える隊員。

WELCOME TO JAPAN
(ようこそ日本へ！)
折り鶴の首飾りを
かけてもらう選手たち。



Photo: 公益財団法人 日本障害者スポーツ協会

東京ハラルリンピックが
やってきた！
50年前のおもてなし大作戦！

1964年、東京オリ
ンピックと共にパラリンピ
ックが開催されました。「ど
うやって障がいがある人と接
すればいいの？」「言葉が
通じないけど大丈夫かな？」
ボランティアをしていた人
の、不安はつきません。
しかし、いざ選手が来日
し交流が始まると、家族や
仕事、恋人の話で盛り上が
りました。「なんだ、私た
ちと同じじゃないか」と思
ったそうです。
パラリンピックの開催に
よって、障がい、言葉、人
種という違いがあっても、
心と心のつながりが生まれ
ました。

2020年、再び東京へ



Photo: 有限会社 X-1

2020年、再び東京に
オリンピック・パラリンピ
ックがやってきます。その
時のために、私たちが今で
きることはなんだろう？
考えてみてね！

考えるための
ヒント



「わたしたちのできること」
～障害者権利条約のはなし～
制作：ユニセフ
発行・翻訳・編集：日本障害フォーラム

参考文献：国際身体障害者スポーツ競技会東京パラリンピック大会報告書／パラリンピック 国際身体障害者スポーツ
大会写真集（公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会）

